

12月は「地球温暖化防止推進月間」 地球にやさしいエコドライブを始めよう!

エコドライブ10のすすめ

1 ふんわりアクセル「eスタート」 「やさしい発進を心掛けましょう」

普通の発進より少し緩やかに発進するだけで11%程度燃費が改善します(目安=最初の5秒を時速20^{km}で走行)。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりした気分で運転しましょう。

2 加減速の少ない運転 「車間距離は余裕をもって、 交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう」

車間距離に余裕を持つことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また同じ速度であれば、高めのギアで走行の方が燃費が良くなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。

3 早めのアクセルオフ 「エンジブレーキを積極的に使しましょう」

エンジブレーキを使うと燃料の供給が停止されるので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら早めにアクセルから足を離して、エンジブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下ったりする時にはエンジブレーキを活用しましょう。

4 エアコンの使用を控えめに 「車を冷やし過ぎないようにしましょう」

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょ。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25度の時にエアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。

5 無用なアイドリングをストップ 「無用なアイドリングをやめましょう」

10分間のアイドリング(ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせや荷物の積み降ろしのための駐車の際には、アイドリングをやめましょう。

データ出所:省エネルギーセンターなどの測定結果

エコドライブとは、環境に配慮して自動車などを使用すること。具体的には、やさしい発進を心掛けたり、無用なアイドリングをやめたりして、燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素(CO₂)の排出量を減らす運転のことです。12月は「地球温暖化防止推進月間」です。わたしたち一人一人が普段の生活を見直し、地球にやさしいエコドライブに取り組みましょう!
環境保全課 ☎26-1787

6 暖機運転は適切に 「エンジンをかけたらすぐに出発しましょう」

現在販売されているガソリン乗用車は暖機が不要と言われていています。寒冷地など特別な状況を除き、走りながらエンジンを暖めるウォームアップ走行で十分です。暖機することで走行時の燃費は改善することもあります。5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加することになります。

7 道路交通情報の活用 「出掛ける前に計画・準備して、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう」

1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると14%程度の燃費悪化に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先や走行ルートをあらかじめ計画・準備しましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ、燃料と時間の節約になります。カーナビやラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。

8 タイヤの空気圧 「タイヤの空気圧を適正に保つなど、 確実な点検・整備をしましょう」

タイヤの空気圧が適正値より50キロパスカル(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また安全運転のためにも定期的な点検は必要です。

9 不要な荷物は積まずに走行 「不要な荷物は積まないようにしましょう」

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から降ろしましょう。

10 駐車場所に注意 「渋滞などを招く違法駐車はやめましょう」

交通の妨げになる場所での駐車は、交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出す原因となります。平均車速が時速40^{km}から時速20^{km}に落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われています。

ノーマイカー 3days
12月
10日・11日・12日

県下一斉にノーマイカーデーが実施されます。徒歩や自転車、公共交通機関を利用するなど、積極的にご参加ください。

1月からごみの出し方が変わります!

1 市から11月末から12月中旬にかけて世帯主あてに「指定ごみ袋購入補助券」が届きます

年間で
1人あたり5枚
配布されます!



- 購入補助券を紛失した場合、再交付はできませんのでご注意ください。
- 市外からの転入届や出生届を受理した場合は、後日、住民登録された住所へ購入補助券(月割り)を送付します。
- 婚姻などにより市内で転居された場合は再交付できません。元の世帯に送付済みの購入補助券をご使用ください。



袋を購入する際は補助券を
忘れないようにしましょう!

2 購入補助券を使って販売店で指定ごみ袋を購入してください サイズはこれまでと同じ4種類です



- 指定ごみ袋1組(サイズは問いません)を購入するには、購入補助券1枚と指定ごみ袋の代金が必要です。購入補助券をお持ちでない場合は、袋代のほかに840円(ごみ処理手数料)が必要になります。

【指定ごみ袋の販売枚数と価格】

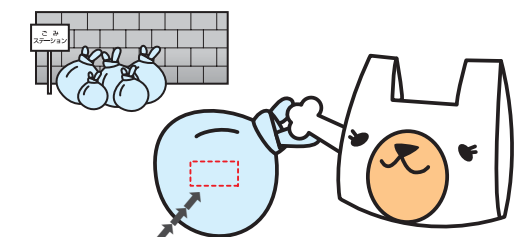
サイズ	1組当たりの枚数	販売価格	
		購入補助券あり(袋代のみ)	購入補助券なし(袋代+処理手数料)
大袋(45ℓ)	4枚入	40円	880円
中袋(30ℓ)	6枚入	48円	888円
小袋(15ℓ)	12枚入	72円	912円
ミニ袋(7.5ℓ)	24枚入	96円	936円

新しい指定ごみ袋は
12月27日(土)から
発売します。



3 ごみは今までどおり分別して、新しい指定ごみ袋に入れて、ごみステーションへ出してください

- 今までどおり、燃やせるごみと燃やせないごみを分別して入れてください。
- ごみを出す際、袋の中身が出ないようにご注意ください。
- 新しいごみ袋には、ごみ処理券を貼る必要はありません。



貼らずに出せます!



環境部総務課 ☎31-6520